

## 歴史と伝統ある学び舎で、挑戦し続ける強い気持ちを持ち続け、夢の実現を

北海道小樽桜陽高等学校長 西川 勤

着任二年目となりました校長の西川 勤（にしかわ つとむ）と申します。本校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。このホームページをご覧ください、少しでも小樽桜陽高校について理解を深めていただければ幸いです。これまで3年間続いた新型コロナウイルス感染症対策も新しいフェーズに入りつつあります。アフターコロナを見据えつつ、本校といたしましては、引き続き安心・安全に学校教育活動が展開できるよう学校経営・学校運営してまいりますので、よろしくお願いいたします。

### 【本校の歴史】

本校は、明治39年（1906年）北海道庁立小樽高等女学校として開校し、今年で創立117年目を迎える、歴史と伝統ある学校です。これまで三万八千名を超える卒業生が巣立ち、地元小樽はもとより、全道、全国で活躍しています。

### 【校名の由来】

昭和25年（1950年）、新制高等学校の発足にともない同窓会名の「桜陽」がそのまま校名として引き継がれました。この同窓会の名称を校名にしたという由来のためか、校訓の「賢く 強く 豊かに」と共に、校名「桜陽」に込められた思いが「校名訓」として代々引き継がれています。

深山木みやまぎの その 梢こずえとも見えざりし 桜は花あはに 顕あらわれにけり

これは、平安時代の勅撰和歌集「詞花和歌集」に収められた源三位入道頼政げんさんみにゅうどうよりまさの歌で、この歌の一節「桜は花に顕われにけり」が「桜陽」の元になっていると言われており、その意味は「桜の木は、他の沢山の木々とともに深山に紛れていても、ひとたび花をつければ、その美しさや品格が自ずと際立つ」ということであり、高校生活の中で得た学びが、将来実を結び、有為な人間として社会の中で活躍することに願いと期待を込めたものであるとされています。

### 【本校の特色】

平成23年（2011年）には普通科単位制となり、着実に進路実績を積み上げてきています。学力向上だけでなく、「文武両道」の校風の下、部活動にも9割近い生徒が加入し、全道・全国大会で活躍するとともに、ボランティア活動にも多くの生徒が参加するなど地域貢献にも積極的で、学校行事も充実しています。

また、本校では『自分を活かし、世の中に貢献できる志の高い人材の育成』をグラデュエーションポリシー『育てたい人間像』として掲げ、その実現のために、次の7つの資質や能力を身につけることができる教育活動を展開しています。

- 1 自らの課題を発見し、取り組み、自己の進路を切り開く実践者  
〔 ① 自己肯定力 ② 主体的実行力 ③ 課題発見力 ④ 創造力 〕
- 2 豊かな人間性を兼ね備えた社会の形成者  
〔 ⑤ 発信力 ⑥ 傾聴力 ⑦ 規律性 〕

更に、「単位制」高校として夢の実現に向けて意欲的に学ぶことができる次の特色があります。

- 1 「少人数授業」、「習熟度別授業」、「進路別授業」で「質の高い」学びを実践
- 2 「多様な選択科目」から、「個別の進路目標」に応じた時間割編成
- 3 「互いに切磋琢磨」できる、「進路希望」や「科目選択」等に応じたクラス編成

本校に入学を希望される中学生のみなさんには、是非、伝統と実績のある小樽桜陽高校で学び、将来素敵な桜の花咲かせてもらいたいと思います。

### 【結び】

最後に、小樽桜陽高校がこれからも地域から信頼され選ばれる学校であり続けることができるよう、教職員一丸となって教育活動を推進していきたいと考えております。今後も皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。